



2022年4月28日

各位

会社名 ラサ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 坂尾 耕作
(コード番号 4022 東証プライム)
問合せ先責任者 常務取締役経理部長 望月 哲夫
(TEL 03-3258-1835)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年8月13日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	31,500	2,700	2,700	2,100	264.98
今回修正予想 (B)	35,400	3,460	3,550	2,530	318.89
増減額 (B-A)	3,900	760	850	430	
増減率 (%)	12.4	28.1	31.5	20.5	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	28,978	2,659	2,649	2,004	252.89

2. 2022年3月期の通期連結業績予想の修正理由

当連結会計年度は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、世界的に経済活動は回復傾向にあり、国際商品価格の高騰などによる経済減速懸念はあるものの、底堅く推移しました。

このような状況の中、化成品事業においては、国内外の半導体向け高純度燐酸の販売が好調に推移しました。また、原料価格の高騰を主因とした販売価格の是正などによる増収のほか、凝集剤の一部製品の市況の上昇もあり、損益は予想を上回る見込みです。電子材料事業は、化合物半導体向け高純度無機素材の販売が好調に推移したことなどから、予想を上回る見込みです。機械事業の損益も予想を上回る見込みです。また、各事業ともコストダウンを行い利益の確保を図ってまいりました。

このような見込みから、2022年3月期の業績予想を上記のように修正いたします。

3. 配当予想の修正について

	年 間 配 当 金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2021年8月13日)	—	円 銭 50.00	円 銭 50.00
今回修正予想	—	70.00	70.00
当期実績	—		
前期実績 (2021年3月期)	—	45.00	45.00

修正の理由

当期の配当金につきましては、業績予想等を勘案し、2021年8月13日に公表しました前回予想から期末配当について1株につき20円増配し、1株当たり70円に修正いたします。

(注)上記の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上